關大
発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3-3-35
発行人　辻見重行
電話 06(368)1121代表
FAX 06(380)8476
振替口座00930-2-55594

平成7年度 法人予算決まる

引き続き厳しい財源

学校法人関西大学の平成七年度予算が、三月二十九日、千里山キャンパス・一〇〇周年記念会館で開かれた評議員会で議決承認された。予算総額は約四百九十六億一千三百四十六万円で、六年度に比べ約三十七億四千七百八十二万円の減。収入財源は前年度に引き続き厳しい状況にあり、限られた財源の有効な活用と財政の健全化を目指す。こうした中で懸案だった千里山キャンパスアクセスの整備と、入試部・国際交流センター・保健管理センター・就職部などを一カ所にまとめたサービスセンター的総合施設の建設が注目される。

総額で496億円

前年度より37億円減

納付金収入が70%

国庫補助の増額見込む

事業並びに収入支出予算の概要は次の通り。

＝数字は万円未満省略。

◇収入支出予算の概要◇

「収入」では、学生生徒等納付金収入が二四一億四一三九万円で全体の約七〇・二%を占める。入学者の予算人員を、大学院四一〇人、学部第一部五、六九六人、同第二部五〇〇人、高等学校四五〇人、中学校一八〇人、幼稚園一四八人とし、第二年次以降は現員数に経験的減少を見込み、前年度費七億八四九一万円の増。

手数料収入は入学検定料が主で、二九億三八七万円。寄付金収入一億八九〇〇万円、補助金収入は一九億二五三八万円で、国庫補助金のうち私立大学等経常費補助金は前年度比二億円の増を、地方公共団体補助金のうち高校、中学校、幼稚園への経常費補助金は前年度比五四〇〇万円の増をそれぞれ見込んでいる。

そのほか、資産運用収入は一〇億六五八万円、資産売却収入五億一〇〇〇万円、事業収入二億三一八四万円などで総額は四九六億一三四六万円になっている。

「支出」は、人件費が一七三億一七五二万円で全体の約四四・四%を占め、前年度比五億八八九七万円の増。教育研究経費六七億三三三九万円、管理経費一五億五八一〇万円、施設関係四三億五二六七万円、設備関係一六億三三五七万円、資産運用四四億四八一七〇万円、その他、阪神・淡路大震災で被災した教職員への特別融資枠として貸付金を一億円増額して計上。総額は四九六億一三四六万円。

資金収支計算書

（△印は減・単位 千円）

収入の部				
	科目	7年度予算	6年度予算	増減
1	学生生徒等納付金収入	24,141,393	23,356,475	784,918
2	手数料収入	2,903,875	2,974,327	△ 70,452
3	寄付金収入	189,000	202,000	△ 13,000
4	補助金収入	2,925,285	2,664,552	260,733
5	資産運用収入	1,006,582	913,294	93,288
6	資産売却収入	510,000	1,010,000	△ 500,000
7	事業収入	231,842	231,347	495
8	雑収入	748,877	671,562	77,315
9	借入金等収入	300,000	1,676,400	△ 1,376,400
10	前受金収入	5,087,765	4,993,905	93,860
11	その他の収入	1,921,445	3,546,242	△ 1,624,797
12	資金収入調整勘定	△ 5,695,978	△ 5,872,192	176,214
	（小計）	(34,270,086	36,367,912	△ 2,097,826)
13	前年度繰越支払資金	15,343,382	16,993,377	△ 1,649,995
	収入の部合計	49,613,468	53,361,289	△ 3,747,821

支出の部				
	科目	7年度予算	6年度予算	増減
1	人件費支出	17,317,519	16,728,542	588,977
2	教育研究経費支出	6,733,396	6,350,792	382,604
3	管理経費支出	1,558,108	1,590,702	△ 32,594
4	借入金等利息支出	421,398	463,190	△ 41,792
5	借入金等返済支出	1,010,270	2,456,160	△ 1,445,890
6	施設関係支出	4,305,260	1,746,650	2,558,610
7	設備関係支出	1,633,573	2,136,791	△ 503,218
8	資産運用支出	4,448,700	4,651,543	△ 202,843
9	その他の支出	2,036,708	2,365,994	△ 329,286
10	予備費	350,000	300,000	50,000
11	資金支出調整勘定	△ 837,500	△ 772,457	△ 65,043
	（小計）	(38,977,432	38,017,907	959,525)
12	次年度繰越支払資金	10,636,036	15,343,382	△ 4,707,346
	支出の部合計	49,613,468	53,361,289	△ 3,747,821

予算編成の基本方針

財政現況踏まえて

合理化、効率化めざす

本学は、建学以来の伝統である「学の実化」を基本方針として、「実学化」「総合化」「問題解決型人材の育成」を推進するとともに、ここ数年来は、「国際化」「情報化」「開かれた大学」を目指しています。また、来る二十一世紀に向けて、新しく飛躍する第一歩として、平成六年度には高槻キャンパスに総合情報学部を開設し、第二部を天六キャンパスから千里山キャンパスへ移転しました。

平成七年度は、ハード面では教育環境整備の一環として教室の空調設備の整備を推進するとともに、千里山キャンパスアクセスの整備並びに長年の懸案である入試部・国際交流センター・保健管理センター・就職部等を包含するサービスセンター的総合施設の建設と、これらの跡地利用を含めた大学院施設の充実を早急に検討すべく英知を結集していかねばならない。ソフト面では、自己点検・評価の実施により、改善すべき問題点の認識と積極的な改革への取組を期し、研究水準向上のための施策を検討する年でもあります。

第一高等学校・第一中学校は、今日の学齢人口の急減に対して、男女共学制の導入など制度改革を含めて質の維持向上に努めることを期待します。本学幼稚園は、三歳児保育を新設し、保育の質の向上に努めることを期待します。

平成七年度の財政見通しは、人件費をはじめとする経常的経費の増高、学園環境の整備拡充に伴う維持管理費や債務償還費の増加など、支出の漸増に対し、これを賄う収入財源は、その七割以上を占める学生生徒等納付金収入の限界、入学検定料収入の減少、国庫補助金の漸減傾向など、引き続き厳しい状況が予測されます。

平成七年度の当初予算については、本学財政の現況を踏まえ、従来の支出内容をスクラップアンドビルドの考え方に立ってさらに見直し、合理化、効率化を求め、限られた財源の有効な活用と財政の健全化を目指すことを基本として編成しました。（要旨）

教育研究や国際交流等に

積極的に各種事業

二部の教育体制見直し

◇事業の概要◇

〔主な教育研究関係〕

教育研究の自己点検・評価システムの検討・実施八〇四万円、情報処理教育の充実六四七万円、外国語教育の充実三六二万円、第二部教育体制の見直し検討一〇八六万円、在外研究旅費八七八五万円、学会出張旅費一億二六五一万円、研究所研究費一億六二八七万円、重点研究領域助成費四〇〇〇万円、学生募集・入学者選抜費は大学院三〇二万円・学部九億二七五二万円。

〔主な国際交流関係〕

研究者の派遣四八六万円、外国人研究者の受入れ二四九五万円、私費外国人留学生授業料減免援助金の支給二八二七万円、国際交流助成基金による外国人留学生奨学金の支給六〇〇万円、国際交流助成基金による交換留学生の派遣一二〇〇万円、ハワイ大学学生を対象とした夏期日本語・日本文化セミナー及びオーストラリア国立大学学生を対象とした春期日本語・日本文化セミナー三九七万円。

公開講座など

〔主な「開かれた大学」関係〕

経済・政治研究所産業セミナー・公開講座、工業技術研究所講演会、法学研究所現代法セミナー・公開講座六六八万円、吹田市民教養講座、おおさか文化セミナー五九〇万円、近郊都市講演会、地方都市講演会他九六六万円、「考古学入門講座」三三〇万円。

基本図書など充実

情報処理に約10億円

〔主な図書館関係〕

テーマを設定した基本図書の充実一二〇〇万円、書誌学基礎資料の充実二二六二万円、学術情報システム・マルチメディアシステム等の充実七二四万円、図書館所蔵資料影印叢書の刊行六五〇万円、利用者検索システム・目録情報の充実五〇一二万円、図書館資料購入七億七二一万円（研究用図書四億九八四〇万円・同雑誌一億三八七三万円、学習用図書五八一四万円・同雑誌一一九二万円）。

〔主な情報処理関係〕

教育研究用システムの運用と学内ネットワークの充実五億五一二三万円、事務機械化の電算システムの開発・運用二億六六二六万円、教育研究用光ネットワークシステムのレベルアップ三四五五万円、インフォメーション・システム及び業務コミュニケーション・システム展開用機器の設置並びにLANの敷設一億九三五〇万円

赤井基金9千万円に

奨学金へ有効活用

赤井物産代表取締役会長の赤井常隆氏（7専商、本学評議員）は、五月一日、母校を訪れ、「奨学基金の拡充資金にと、一千万円を寄付した。

赤井氏は、平成元年五月に一千五百万円を寄付、翌年、「赤井奨学基金」としてスタート。それ以来、毎年一千万円以上の寄付が続けられ、今回の寄付で九千万円に達した。「経済的に恵まれない中で、学問に打ち込み優秀な成績をあげている」という条件をクリアした数少ない学生が対象に選ばれ、学資など有効に活用されている。

上田理事長と歓談する赤井氏（左）＝関西大学会館で

環境整備を推進

震災被災者の支援も

〔主な学生福利厚生関係〕

関西大学奨学貸付金（六一〇人）二億二五一〇万円、入学時貸与奨学金（一六〇人）六六八五万円、家計急変者に対する応急貸与奨学金六五五万円、短期貸付金二二〇万円、学生教育研究災害傷害保険加入一二〇六万円、赤井奨学基金、柳楽奨学基金、久井奨学基金及び野田奨学基金に基づく給付奨学金四八〇万円、就職活動に対する援助の促進三八七六万円。

〔主な教育研究施設設備の整備充実〕

空調設備設置（第一学舎）四億四一〇〇万円、同（第二学舎）二億八〇〇〇万円、同（第四学舎）三三〇〇万円、同（第三学舎）二四〇〇万円、第一学舎一号館A二〇六・A二〇七教室改造三七五〇万円、アクセス整備工事（第一期）六億三六二六万円、下水道管整備工事二億円、高圧電気設備改修工事一億七〇〇〇万円、特別高圧受電所トランス入替工事六五〇〇万円、道路舗装補修工事四一〇〇万円、「尚志館―総合サービスセンター」（仮称）建築（平成七年度分）二〇億円、施設維持管理費（修繕材料費、清掃材料費、電気代、ガス代、水道代、重油代、火災保険料、清掃業務委託費、警備業務委託費、その他）二八億五一九六万円。

〔「阪神・淡路大震災」被災者対策関係〕

被災学生授業料等援助費五〇〇〇万円、同予備費五〇〇〇万円（以上大・高・中）、被災家屋建設特別融資（教職員）一億円

〔主な併設学校関係〕

高等学校＝国際理解教育と海外研修の整備・充実一一二万円、中学校＝同一〇七万円、生徒募集・入学者選抜費一七九三万円（高等学校七九五万円、中学校九八〇万円、幼稚園一八万円）、カウンセリングシステムの整備・充実（高等学校・中学校）九一万円、空調設備設置（一高校舎）一億六五〇〇万円、同（一中校舎）八〇〇〇万円、外灯照明設備整備工事（高等学校）二五〇〇万円、施設維持管理費一億二五〇〇万円。

春の叙勲

◇勲二等瑞宝章

嶋田貫一（しまだ・かんいち＝28学二法）70 元鳥取地検検事正　交野市妙見東3―2―11

秦　豊（はた・ゆたか＝推薦校友）70 元参院議員　三鷹市井ノ頭1―11―21

水崎松夫（みずさき・まつお＝20二商）70 元最高検検事　横浜市西区御所山町1―1―108

◇勲三等旭日中綬章

佐々木坦（ささき・やすし＝21大法）73 元長崎県立国際経済大学学長　佐世保市山祇町13―6

高橋雅夫（たかはし・まさお＝20大予）70 元広島地検検事　下関市丸山町1―11―26

藪下侯夫（やぶした・よしお＝20専二法）70 元広島地検福山支部長　熊本市九品寺1―8―28―2―111

◇勲三等瑞宝章

福屋憲昭（ふくや・のりあき＝24大法）70 元大阪高検検事　川西市大和西4―6―5

◇勲四等旭日小綬章

本田　勉（ほんだ・つとむ＝19大法）74 元御坊区検副検事　和歌山県那賀郡岩出町大字森1―65

森部圭起（もりべ・けいき＝28院修公）74 元大阪区検副検事　箕面市半町3―10―35

◇勲四等端宝章

中矢喜男（なかや・よしお＝24大法）70 元大阪府立大事務局長　羽曳野市羽曳が丘6―7―5

◇勲五等双光旭日章

濱田英雄（はまだ・ひでお＝26学一商）71 興和信用組合理事会長　豊中市刀根山1―3―20

吉野健四郎（よしの・けんしろう＝臨16専二法）79 元大阪府警警視正　宝塚市中筋山手3―7―13

▽勲五等瑞宝章

平田光男（ひらた・みつお＝19大法）72 元大阪府立工業高専事務局長　枚方市香里ケ丘1―19―2

◇勲六等瑞宝章

河俣次男（かわまた・つぎお＝19専一商）72 元大阪府警警視　枚方市杉山手2―21―12

黄綬褒章

宇賀照夫（うが・てるお＝28学一経）63 ㈱大阪防水建設社代表取締役　東大阪市山手町9―4

永原義夫（ながはら・よしお＝29学一法）64 王建工業㈱代表取締役　西宮市深谷町2―60

橋本晴之（はしもと・はるゆき＝31学一商）61 奈良県花き植木農業協同組合組合長　奈良県磯城郡田原本町秦庄5888

森本義弘（もりもと・よしひろ＝28学二法）69 弁理士　長谷川好宏

平井　哲夫　平田留美子　堀　浩一　堀江　治之　三品　薫

藍綬褒章

河原寛治（かわはら・かんじ＝38学二法）55 大阪府議会議員　大阪市港区夕凪2―2―20

薩摩外一（さつま・ういち＝23専二経）70 ㈱美々卯代表取締役　宝塚市仁川北3―7―24

松室　猛（まつむろ・たけし＝34学一法）58 大阪府議会議員　池田市石橋1―10―10

・森本特許事務所長　生駒市さつき台1―503―8

森部圭起（もりべ・けいき＝28院修公）74 元大阪区検副検事　箕面市半町3―10―35

特別協力金 協賛者名簿

全国の校友のみなさんに支援をお願いしている「特別協力金」は、四月末現在で四、二一一件、三三、三四四、一二六円。四月号掲載後寄せられたのは五七件、四一三、〇〇〇円。

「特別協力金」は、一口五千円。振込先は「郵便振替口座番号 00930―2―55594 関西大学校友会」または、「大和銀行天六支店普通口座 2200981 関西大学校友会」。校友のみなさんのご協力をお願いいたします。

名簿の中で氏名の後ろのカッコ内は四月号までの掲載分との合計金額。金額別・五十音順。（敬称略）

▼二万円
安藤一郎　大西康進　道山浩次

▼一万五千円
成岡昭二（三万五千円）

▼一万円
岩城富子　遠藤裕　奥林俊秀　黒松育二　西郷孝義　神東洋之　中辻稔（二万円）　森岡健　安田淳五　山本佳之　行方正行　吉井雅也　中村一夫（二万円）　新田美和（二万円）　日野浩之　福場正吉　藤本是　本多操（二万円）　久野英夫　小寺一弘　塩谷俊造（一万三千円）　清水豊　妹尾浩　高橋重夫　高橋まり子　中村昭博　西尾康　井野博之　岡田良　岡本由美　尾崎英親　加治雅彦　勝浦清二　北野巧　國吉高虎　木戸良樹　初瀬川孝幸　平田明　宮崎彌吉　木下功　才川明美　位上啓一　阿部雄一

▼五千円
中村昭博

▼三千円
吉井勝

▼二千円
高橋重夫

▼千円
木下功

会と催し

▽枚方市役所秀麗会設立15周年記念行事　5月26日(金)午後6時15分　ひらかた仙亭

▽東成支部総会　5月27日(土)午後6時　ハローイン

▽都島支部総会　5月28日(日)午前11時　チサンホテル心斎橋

▽東淀川支部総会　5月28日(日)午後1時　「クレオ」大阪北

▽女子秀麗会総会　6月4日(日)午前11時半　ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）

▽第64回定例代議員会　6月10日(土)午後1時半　関西大学一〇〇周年記念館

▽西成支部高槻キャンパス見学と摂津峡の旅　6月11日(日)午前9時　岸里発

▽生野支部総会　6月17日(土)午後6時半　上六・天山閣居酒屋

▽天六同友会総会　6月17日(土)午後5時　天王寺都ホテル

▽関西大学体育会自動車部OB会平成七年度総会　6月18日(日)午後1時　関西大学一〇〇周年記念会館

▽豊中支部総会　6月23日(金)午後6時　阪急豊中駅前ホテル・アイボリー

▽岡山支部総会　6月24日(土)午後5時半　第一インン岡山（岡山駅西口）

▽熊取支部総会　7月1日(土)午後5時　泉佐野市・めだか

▽西成支部総会　7月1日(土)午後6時半　阪堺線恵美須町駅―イベント列車

内外国特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木・鮫島国際特許事務所
会長・弁理士　鈴木武夫
所長・弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
（四ツ橋交差点西角　大化興産ビル2F・3F　地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話　大阪〇六（五三一）七四三一（代）
国際テレックス〇五二五―五九〇五 TSIPOL
ファックス〇六（五三一）七四三五

77年の歴史に支えられたハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama KATANO 1918
株式会社カタノ
〒541 大阪市中央区北浜2丁目1番21号
北浜カタノビル1F
☎(06)231-0565～7
近鉄百貨店紳士服特選お誂えコーナー
上本町店・枚方店・奈良店・橿原店

EUROPEAN CARS SINCE 1945
ROVER
1.9%特別オートローンキャンペーン
MINI R200 R400(除くトゥアラー) R800 ディスカバリー
Rover Japan正規代理店
JIRON ジロン自動車株式会社
代表取締役　吉田尚司
大阪市浪速区下寺3丁目8－5
TEL06(644)0010(代) FAX06(644)0011

Yabuuchi
おかげさまで創業120周年。
美しく表情を変える、時計。
St.PAUL
特別記念価格 ¥1,500,000(税別)　特別記念価格 ¥150,000(税別)
120周年記念腕時計「セント・ポール」
㈱服部セイコーの技術と協力により完成された、数量限定オリジナルウォッチ（特製記念ケース入り）
関大校友の方は、「関西大学校友カード」または右下の「関大校友特別優待券」をご持参下さい。特別割引させていただきます。
大阪 心斎橋筋
やぶ内時計舗
関西大学校友カード提携優待店
電話　06(211)1050(代)
営業時間　AM11:00～PM20:00　定休日　第3水曜日
昭和35年法学部卒
藪内正明
関大校友特別優待券（1/7.5）

●てっちり　●ハリハリ鍋　●くえ料理
徳家
年中無休（日曜日はお昼より営業しております）
大阪市中央区千日前1丁目7-11 上方ビル2F
TEL.(06)211-4448

葦の雫

爛漫と咲いた千里の花も散り、葉桜となった。亥年だからというわけでもないだろうが阪神大震災に始まって災難の数々が押し寄せ、不気味な感じの中、校友各位は大型連休を如何、過されたでしょうか▼母校は、ソフト面での「教育研究の自己点検・評価システム」を導入する一方、ハード面で「尚志館―総合サービスセンター」（仮称）建設に着手。石川学長は、大学は入口と出口での対応をきちんとすることが大切で、入学を希望する生徒達と卒業生を採用しようとする企業へのそれぞれのサービスが肝要だとして、入試部と就職部を国際交流センターとともに、正門近くの新しい建物に収容、学生食堂も充実させるという▼かつて正門前の丸見屋食堂に屯していた我々は〝丸見屋食堂卒業〟と揶揄された。思い出いっぱいの青春の〝場〟は、今やない▼思い出といえば、岩崎卯一先生の胸像が建つ大学院学舎にも若き日の懐かしい日々が一杯つまっている。一部に大学院無用論があるが、共に学んだ校友各位の顔、顔が次々と浮かぶ。在学中の不勉強を学び直した向きもあったであろう▼終戦後の廃虚よりの再建の時節であった。同じ頃第一次大戦の敗戦を経験していたドイツは、いち早く復興の道を進んだ。その方途は経済政策の〝傾斜生産〟と呼ばれた。それらの文献が届くと同時に解読されたことを思い出す▼我々の時代は、文献が読めればよしとされた。これからは、自らの意見を用意し、ディベート（討論）する能力が求められている。昨春誕生の総合情報学部にMBA（経営学修士）の資格が取れる大学院の設置が待たれる。千里山キャンパスの一隅に咲く赤い花が目にとまった。ポケだった。筆者にふさわしいかと苦笑した。

スプリングフェスティバル報告続報

千陵しのび放吟

第四回合同豫科大会

第四回合同豫科大会は、母校でのスプリングフェスティバルに合わせて四月二日午前十一時から経商一号館A四一教室で開催された。今回は第三回の「豫科青春の像」完成披露大会につづき、旧豫科校舎（第二学舎）建て替えに伴う豫科校舎跡の記念銘板設置の披露も兼ねており、家族同伴ということもあって夫婦づれも多く、久しぶりに千里山を訪れた豫科OBは百五十七人を数え、全参加者は二百人を超える盛況となった。

「豫科青春の像」前で記念撮影する合同豫科大会の参加者たち

第一部総会は、大学から上田理事長、石川学長、森本常務理事、校友会より植垣会長、辻見事務局長を迎え、厳粛に全員、物故者へ黙祷をした。学歌の斉唱の後、原田憲合同豫科会長の歓迎の挨拶で始まり、理事長、学長、校友会長御三方の懇切な祝辞をいただき無事終了した。

第二部の懇親会は、各期ごとにそれぞれの桜の下、グラウンド、あるいは教室など、自由に和気あいあいのうち（）に、時を忘れての積もる話に花が咲いた。われわれ豫科生にとって千陵は自由と自治の桃源境、青春の代名詞であり、弊衣破帽、高歌放吟、ストームと逍遥歌に暮れる毎日であった。〝緑の香りいと高き千里山〟は、人間形成を第一義とした豫科の教育にとって最高の環境であり、活発でおおらかな豫科独特の気風が育まれたのではないだろうか。今日一日は円高も大震災も忘れ、マントに高下駄、白線二条の青春に回帰した楽しい一日だった。

最後に全員、「豫科青春の像」の前で記念銘板の銘文のごとく「遥かなり　千陵」をしのびつつ、千陵逍遥歌一番より五番まで全節を大合唱してお互いの健康と再会を約して散会した。（大野　覺）

恩師囲んで歓談

法・竹本ゼミOB会「竹和会」総会

卒業生に母校の発展をみてもらおうとの趣旨で、法学部の竹本正幸教授のOB会である竹和会の総会が、スプリングフェスティバルの四月二日、千里山キャンパスの法文学舎で開催された。

平成七年度の卒業生で第二十三会期を数える伝統ある竹和会の集まりとあって、小さいお子さんの手をひいて参加する卒業生もあってにぎやかな集まりとなった。二十年ぶりに再会してお互いの変貌に驚く者、応援団の演舞にチアー・リーダーが参加している様子をみて時代の流れを感じる者など、さまざまな感想を個人が得た様子である。

恩師の竹本教授の元気な姿をみて安心した面々は、梅田の中華料理店に場所を移し、教授を囲んで大いに飲み歓談、母校と竹和会の発展を祈念して夜遅く？解散した。（S）

一歳女児も参加

応援団・体育会各部六一会

応援団・体育会各部の昭和六十一年卒業の集まり「六一会」の平成七年懇親会が、四月二日、昨年に続いてスプリングフェスティバルに参加した後、関大前の「森の石松」で開催し、二十人が懇親をさらに深めた。

来年、卒業10周年を迎える六一会メンバー

阪神大震災直後からお互いの無事を電話で確認しあっていたが、改めて無事を喜びあった。自宅が全半壊するなどの被害を受けたメンバーもいたが、物心両面での復興に向かう元気な声が聞け、関大生らしい力強さを感じた。

懇親会は、学歌斉唱で始まり、山本一秀代表（拳法）が「来年は卒業十周年、一泊の記念懇親会をしたい。一月十四日は懇親会、翌十五日は現役応援団・体育会の新春研修会に合わせて能勢妙見山へ参ろう」と提案、歓声が上がった。事務局の谷口欣久君（柔道）が乾杯をリード、祝宴では各自の近況がにぎやかに披露された。

松村（旧姓前田）寿子さん（自転車）は神奈川から駆けつけ、長久佳浩君（器械体操）は五月結婚を発表するため東京からわざわざ参加、中村（旧姓西川）厚子さん（空手道）は一歳の彩乃ちゃんと出席、会場にパッと花を咲かせた。

歓談が尽きない中、逍遥歌を腹の底から歌い、一層の健闘と六一会のより充実した活動を千里山で誓い合った。（谷口欣久）

現役と合同練習

柔道部OB千柔会

柔道部OB千柔会は、スプリングフェスティバルの四月二日、母校で平成七年度総会を開催した。午前十時半から凱風館柔道場で、現役とOBの合同練習を行い、正午からは法文二〇七号教室で総会に入る。本年度重要議題の役員改選で現会長海蔵寺浩氏（32年商卒）を満場一致で再選した。また新執行部については会長一任とし、後日発表することとした。会務、事業報告その他の議題もスムーズに進行、無事総会を終えることができた。

引き続き現役OBともども六十人が懇親会に移り、本年新入生の紹介等もあり、なごやかなムードの中、閉会となった。（三澤恒次郎）

ひきたて　うちたて　ゆでたて
おそばの美味しい
家族亭へお立ち寄り下さい。
そば　うどん　家族亭
本　社　電話06-372-7475
東京支店　電話03-3564-0261

北から南から　広域版

仲間に30万円余

天六同友会が震災見舞金

天六同友会（浅田義信会長）は、阪神大震災の被災地域在住会員二十数人の被害状況を調査する一方、全会員に呼びかけて見舞金を募ったところ、二週間で五十人を超す会員から三十万円余が寄せられた。調査した被害程度にしたがって三月中旬、被災会員にお見舞いした。

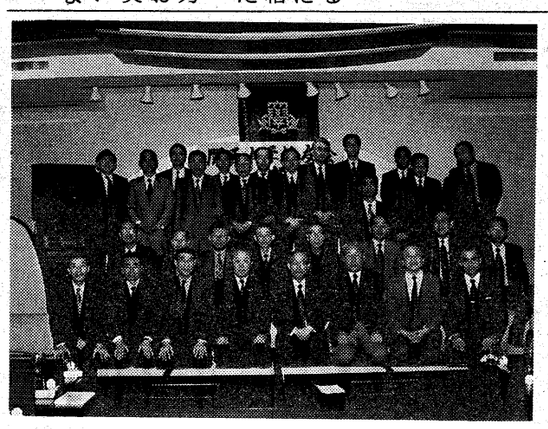
被災会員から大きな励ましになったと感謝され、天六同友会運営の一つの柱である「会員の相互扶助」が実際に発揮されたといえる。会員相互のきずなが一層強まったと、喜んでいる。

浅田会長は「募金にご協力いただいたみなさんに厚くお礼申し上げるとともに、被災されたみなさんの一日も早い立ち直りを心からお祈りします」と、語っている。（石井國男）

結成35周年迎える

八尾支部　記念総会　奥村支部長留任

支部結成35周年を迎え八尾支部は平成七年度記念総会を四月七日午後六時から八尾駅前オクムラビル菊花殿で四十余人が参加して開催した。


35周年記念総会に出席した八尾支部の会員たち

来賓として公務多忙の折にもかかわらず母校から上田理事長、校友会本部から中上副会長、辻見事務局長、近隣支部から梶谷藤井寺支部長、鎌田東大阪副支部長、楠大阪狭山副支部長の出席を得て横山副支部長の司会で第一部の総会に入った。

議事に先立ち、今回の阪神淡路大震災で亡くなられた関係者のご冥福を祈り黙祷をした。引き続き奥村支部長の挨拶があり、事業報告、会計報告を承認した後、役員改選に入った。選考委員会を設け選考の結果、奥村支部長は留任し、副支部長、会計監査の選任は支部長へ一任とされた。

続く第二部の懇親会は、上田理事長から母校の変わりゆく姿の紹介があり、中上副会長からは校友会の近況の話があった。また近隣支部を代表して梶谷藤井寺支部長よりお祝いの言葉をいただいた後、辻見事務局長の発声による乾杯で開宴。平日の開催にもかかわらず、久しぶりに出席した校友、愛知県からはるばる出席の、かつて八尾支部会員だった大西校友ら記念総会にふさわしい顔がそろった。それに今年は統一地方選ということで、支部校友の中にもそれぞれに立候補予定者がいて、うち三人が出席しており、上田理事長ほか出席者より激励を受けていた。

時間のたつのも忘れるほどあちこちで話の花が咲いていたが、大学の評議員会議長である畑下顧問に締めくくりの話をしていただき、有意義な一時を過ごすことが出来た。（横山享史）

震災租税を卓話

淀川支部　50人参加して総会

校友会淀川支部（本間弘一支部長）の平成七年度総会は、四月二十一日午後六時半から十三本町「サンポードシティ四階宴会場」に約五十人が参加して盛大に開催された。

総会は、本間支部長の挨拶でスタート。来賓として出席の寺西校友会副会長、藤本事務局次長、寺内東淀川支部幹事長の三氏を代表して、寺西副会長から母校の近況報告のあと淀川支部の結束の厚さを称賛する祝辞をいただいた。

淀川支部では、本紙平成七年三月号に既報のとおり、阪神大震災に際して敏速に対応、在住校友千三百人に義援金を呼びかけ、四十万円の浄財を集め、母校被災学生に役立てる資金に寄託したほか、事業収益づくりに協力店構想を打ち出し、支部財源がうるおいはじめるなど、独自の活動を展開している。

議事では、これらの事業ならびに会計報告を承認し、記念撮影のあと、支部のメンバーである公認会計士浅野照雄氏（32法）から、「震災に関する租税処置について」と題する今日的テーマで卓話をいただいた。

懇親会は、藤本事務局次長の乾杯ではじまり、カラオケ、抽選会と楽しい団らんの場となり、宴たけなわのころ全員肩を組み、逍遥歌合唱のあと、今期大阪市議再選の大島副支部長からの閉会のことばでしめくくった。（後藤作夫）

盛り上がった淀川支部総会の参加者たち

バスツアー参加者が桜の下で記念撮影

滋賀県内を桜めぐり

枚方支部　賤ケ岳～余呉湖～梅津大崎　春恒例のバスツアー

枚方支部（養父一郎支部長）は、春恒例のバスツアーを四月十六日に行い、滋賀県の賤ケ岳―余呉湖―梅津大崎のコースで桜めぐりをした。初参加の方、家族連れなど四十人が出席する予定だったが、前日入院されたり、当日奥さんの看護で出席出来ない二人が欠けて十三人になったとの報告があった。ともあれ、半数を超える出席は高齢者の会合として優秀だと思う。

後日、福岡の山中一夫さんから「青春談話の一時を楽しく過ごし、ちょっと若返った気になりました」とのお便りをいただいたが、みんな学生時代そのものの元気さで百歳も夢ではない。（岡本顕潤）

百歳も夢じゃない会員たち

老いて盛ん　千里十二会

千里山十二会（昭12大卒）が、四月二十二日正午からホテル阪神銀座アスターで開催された。案内状には「人生百年として残りが十数年の所までやって来ました。身体の動く間に顔を揃えて〝自然の秀麗〟でも合唱したいものです」とあった。

まず、田中来さんから常連者二十五人に案内を出し十五人の老若男女が参加した。

車内での和やかな談笑が続く中、賤ケ岳登り口に到着。リフトで頂上の公園へ。眼下に広がる奥琵琶湖と余呉湖の素晴らしい景観を十二分に楽しんだ。バスは、菜の花と桜の色調が見事なハーモニーを見せる余呉湖岸を走り、国民宿舎・余呉湖荘に着き、昼食会が始まった。

宗久鐵夫相談役（11商）の発声で乾杯。名物の鴨なんば風うどんや湖魚料理を賞味しながら自己紹介が進められた。兄弟四人と長男の娘さんが関大卒という関大ファミリーや毎日自宅で〝同窓会〟をしているおしどり夫婦もいて、盛んな拍手がおくられた。また神野清相談役（44院博公）の近著「混濁の世にもの申す」が紹介され、希望者にサイン入りで渡された。

海津大崎へ向かう途中、交通渋滞に巻き込まれ、下車して歩いての花見となった。湖岸から湖面へ伸びる桜や、沖合いに浮かぶ竹生島に見とれたり、雄大な自然美を心ゆくまで楽しんだ。

いろいろ世話していただいた京阪交通社の和田正彦事業部長（41商）、藤田真岐子さん（平成1社）にお礼を申し上げます。（大谷量一）

河内地区支部対抗親睦ゴルフコンペの参加者

陽春をゴルフで楽しむ

関大チェリークラブ第30回記念大会

関大チェリークラブは、四月十一日、茨木市のあいがわCCで第三十回記念ゴルフ大会を桜満開の下、開催した。統一地方選挙の直後なども影響して参加者は二十人と例年にくらべて少なかったが、日ごろの実力を思う存分に発揮、それぞれ満足した一日だった。

ゴルフ終了後、表彰式と会食会が催された。当会員の坪井一宇参院議員、大矢卓史衆院議員、中野寛成衆院議員はじめ不参加の会員たちからの祝電披露の後、表彰式に移り、会員相互にスコアの反省など話は弾んだ。次回の再会を約し解散した。

成績は次の通り。（敬称略）

優勝＝藪内正明（35卒）▽二位＝水本武（36卒）▽三位＝徐正知実（39卒）（岩崎好伸）

関大チェリークラブ記念ゴルフ大会の参加者

柏原支部が団体で優勝

河内地区支部対抗

第二十一回校友会長杯河内地区支部対抗親睦ゴルフコンペが四月二十六日、ディアパークGCで開かれ、柏原、東大阪、松原、八尾の各支部から校友と家族三十二人が参加した。東大阪支部が世話役を担当。

前日の雨でやや重いグリーンだったが、白球を追いながら和気あいあい、支部間の交流を深めた。次回は松原支部の世話で秋に開催の予定。大阪狭山支部も参加する。

成績は次の通り。敬称略。

【団体】優勝＝柏原（松田秀司、乾宗三郎、大坂健一、川口肇）▽準優勝＝八尾▽三位＝東大阪

【個人】優勝＝松田秀司▽準優勝＝小野勝之（八尾）▽三位＝乾宗三郎（水野富蔵）

関甲倶楽部は第15回コンペ

関甲倶楽部ゴルフ同好会は三月三十一日、フェアウエーの広い琵琶湖CCで第十五回コンペを開催、参加者は六八と寂しかったが、熊田修三氏（24期）から「灯を消さず、頑張り続けて下さい」とのメッセージを得て、元気が出た。

上位入賞者次の各氏。

優勝＝松村徹（28期）▽準優勝＝安岡幹雄（同）▽三位＝小林健治郎（同）（池田利国）

大阪狭山支部第13回コンペ

大阪狭山支部親睦ゴルフ大会は、四月十四日、八重桜CCで十五人が参加して第十三回コンペを開いた。西名阪藤井寺入口と藤井寺一番芝間が大渋滞、遅刻組が出た。

上位入賞者は次の各氏。

優勝＝平山勝一（28法）▽準優勝＝倉橋雅夫（40経）▽三位＝東武紀（39仏）▽四位＝下村善博（32英）▽五位＝上辻五郎（42商）（池田利国）

校友短信

◆宮崎産業経営大学学長に黒木氏　宮崎産業経営大学法学部教授の黒木忍氏（36院修法）が、4月1日、学長に就任した。60歳。任期は4年。

◆兵庫県住宅供給公社理事長に北村氏　3月31日付で兵庫県審議監を最後に退職した北村信二郎氏（33学二法）は、4月1日付で同県参与・住宅供給公社理事長に就任した。

◆白玖氏が香川県理事に　香川県民生部次長、白玖謙二氏（38学一経）は、4月1日付で県理事に。

こんにちは藤井寺支部です

古い歴史とけがれた自然と伝統に恵まれた新しい文化の町、藤井寺市（人口約六万六千八百人、面積七平方キロメートル）は旧石器時代より文化の栄えたところで、縄文、弥生、古墳時代を通じて多くの遺跡が見られ、奈良時代には市北東部の国府地区に河内国府が置かれ国府遺跡として国の史跡指定を受けている。五世紀頃には、巨大な古墳が数多く築造され城山古墳、古室山、鍋塚、大鳥塚、鉢塚、葦山古墳等の史跡指定地、また三ツ塚古墳周濠から出土した大小二基の巨石連搬具「修羅」が発掘、近つ飛鳥博物館で保存展示され有名になっている。七世紀頃には渡来系民族によって、仏教文化がもたらされた。葛井寺（西国第五番札所）や道明寺天満宮が建立され、学問の神様としても良く知られ梅の名所にもなっている。昭和三十四年に藤井寺村、道明寺村が合併し、藤井寺道明寺町となり、翌年美陵町と改称以降都市化が進み、人口急増によって四十一年十一月に市制になり今日の藤井寺市が誕生した。またプロ野球近鉄バファローズのホームグラウンド、藤井寺球場も有名。

工夫した事業展開へ

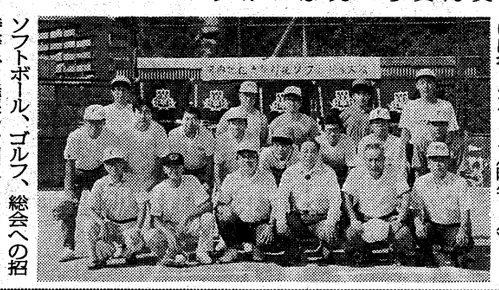
四十六年羽曳野、藤井寺両市の校友が羽曳野支部として支部活動を行っていたが、藤井寺市在住の校友も多くなり四十六年十一月十四日に藤井寺支部が独立発足し、林信夫氏を初代支部長としてスタートを切った（校友百九十人、総会出席八人）。その後西野禎晏支部長へバトンタッチされ支部再建を行い、現梶谷健二支部長へと継承された（校友約五百八十人、正会員百二十人）。

かつては支部懇親会には特別出演に林家小染（故人）や林家染二、桂文福、太平サブロー、シロー等毎回ゲストを呼び、時には支部役員の奥様方の手料理でもてなす家族的ふんいきなどでにぎわった。しかし、資金面、会員数横ばいなど今一つ盛り上がりにかけた。

最近は総会の前に地元の郷土研究家に講演を依頼、地元の歴史を学ぼうと企画し大変好評だった。いろいろ工夫することが支部活動には欠かせないと痛感した。またスプリングフェスティバルに家族づれで母校で語り合う懇親会を催し、なつかしい教室で毎年支部役員の一人から差し入れの越乃寒梅に舌つづみを打ちながらの懇談も恒例の行事となっている。当支部にはこのたびの選挙で五選を果たした校友の堀端宏市長、また堀川国一市議が活躍されているのも心強い限り。

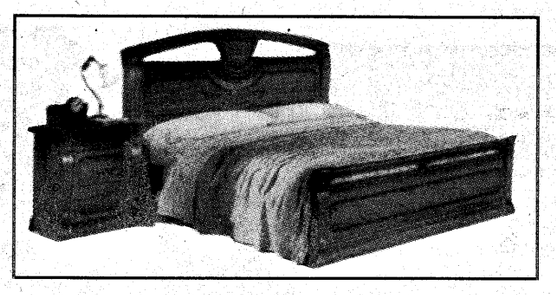
五十五年から近隣支部（八尾、柏原、藤井寺）合同事業に参画し、のちに松原、東大阪両支部が参加し、ソフトボール、ゴルフ、総会への招待等へと発展し、相互に協力し合っている状況も校友会ならではの感がある。当支部も常に同窓会意識できらに若い校友が参加し活動の輪が広がっていくよう工夫した事業を考えている。同時に近隣支部合同の企画を発展させ、河内五支部の総会実現を期待している。

―幹事長　浅野　護


河内地区支部対抗ソフトボール大会に出場したチーム（昨年8月）

災害に強い企業を作る
企業の生命線と社員を守る
建物・コンピュータ　ネットワークの災害対策
コンサルティング
阪神大震災被災企業は実費のみ
関大OB在職企業は校友特別割引
ノーサイド
NOSIDE
☎03(5820)8620　FAX03(5820)8480
東京都千代田区岩本町1-9-1アイアンビル
取締役社長　大津　良司
（経済学部　昭和56年卒）

関西大学校友
200組さまご招待
応募の校友にはご優待カードを発行。
今すぐ、電話か葉書でお申し込み下さい。
06(320)0414
■ご希望の方は、お電話か葉書でお申し込みを・・・
【電　話】06(320)0414
受付けは午前9時～午後6時。日祝も受付
【ハガキ】●氏名●〒住所●電話番号●挙式予定日●来場予定日を明記し下記へ
〒533
大阪市東淀川区菅原2丁目8番7号
メーベル大阪「関大校友」係まで
◆折り返し詳しいご案内の地図付(特典付)のご招待状を送ります。

いよいよ発表!!'95秋の新作　BRIDAL & LIVING FURNITURE　5月27日(土)～6月20日(火)　予約会
◆会場：メーベル大阪　◆協賛：全国優良製造メーカー135社出展　◆営業時間：午前10時から午後7時
★一般公開に先がけて　関大校友特別ご招待
ご婚礼家具　ヨーロッパ家具　4～6割引（メーカー希望小売価格）
『婚礼家具は高くてあたりまえ』という時代は終わりました。
家具卸し総合ショールーム『メーベル大阪』では、全国優良家具製造メーカー135社参加出展による『'95秋の新作ご婚礼家具・リビング家具予約会』を開催。会場では、'95秋の新作婚礼家具7種180セットをはじめリビング家具（食器棚・食堂セット…）・布団等が無駄な流通経費をすべてカットした『産直価格』（メーカー希望小売価格4割～6割引）で大展示。一般公開に先がけて、この催しに関西大学校友200組様をご招待。ご予算が倍にいかせるこの機会にぜひお出かけ下さい。なお、この時期混雑が予想されますので、お申込み・お出かけはお早めに。
産地直結システムだから
予算もセンスもしっかり満足

●ダブルベッド（イタリア製）148,000円

●一年間のお預かりシステム
●大阪・神戸・奈良・京都は無料配達
東京都内は格安運賃5万円（税別）
人気No.1
●11点揃いブライダルパック 598,000円
限定35セット
洋服タンス・衣裳タンス・ハイチェスト・ブレザーたんす・ドレッサー・食器棚・ダイニング5点セット・ダブルベッド（別売）

北から南から

秀麗寮士会の北陸支部発足

支部長に鍛治沢氏

学生国際交流館秀麗寮士会の北陸支部設立総会が、四月十五日、和倉温泉「サンかがや」で初代秀麗寮舎監の鉄井良男名誉会長（15専）、清水英俊会長（38商）両ご夫妻を迎え、第三期（34卒）から十四期（45卒）までの有志二十三人が参加して開かれた。

第一部総会は、物故会員への黙祷後、学歌斉唱。鍛治沢純郎北陸会長（35経）の挨拶で始まり、以前からの北陸三県秀麗寮士会（北陸会）を発展させる支部会則案、各県の役員選出を審議、承認された。各地、各期からの祝電披露。清水会長の寮士会活動報告と挨拶につづき、今秋に喜寿を迎えられる鉄井名誉会長の元気なお姿と挨拶に感涙する会員の姿もみられた。会員が在寮当時「ゴンタ君」としてお世話になった鉄井悦子夫人の紹介と挨拶で総会を終了。

第二部懇親会は、全員ゆかた姿でくつろぎ、旧寮寮旗を背に記念写真を撮影＝写真。小倉正一郎氏（34文）の音頭で乾杯し、舟田修支配人（41経）の配慮による料理に舌鼓をうち、在寮時と同様に鉄井舎監ご夫妻を囲み家族的なごやかな雰囲気に包まれ歓談した。在寮時の「ゴンタ君」同志の現在の活躍、旧寮生活の思い出話に時のたつのも忘れた。最後に全員肩を組み追遠歌を熱唱して散会、一泊してくつろいだ。

支部役員は次の各氏。

支部長＝鍛治沢純郎（富山）▽副支部長＝小倉正一郎（石川）、朝井速次（37商・福井）、手島晟（38工・富山）▽事務局＝伊藤正宏（44商）▽幹事＝林喜久男（37経・石川）、吉野勝（38経・福井）、井上雅博（41経・富山）

（清水英俊）

岩本先生の傘寿を祝う

70余人参加で盛会

本学名誉教授・岩本慧先生が、昨年十月五日、傘寿（八十歳）を迎えられ、慧節会（先生のゼミ生の会）は、三月十二日正午から千里山キャンパス二〇〇周年記念会館で先生ご夫妻をお招きして傘寿の祝賀会を催した。

快晴の早春、遠くは沖縄をはじめ全国から卒業ゼミ生が、配偶者や子供、乳幼児を同伴、総勢七十余人の参加という盛況ぶり。

先生は現在なお講義を担当されゼミ生の熱望により開会に先き立ち、テーマ「商人資格の取得時期」についてを四十分間、講義。第一回ゼミ生は三十人年ぶり。その理論と論理、しかも円熟された講義に感銘すると共に、凛とした張りのある声、先生のご健康に安堵。

開会。阪神大震災で亡くなられた方々、ゼミ生物故者への黙祷。会長の祝辞に続き、先生のお礼の言葉と共に、「人生を背負って将来を歩む」と味わい深い言葉を述べられた。この後、祝寿。母校での久々の集い、追想と談笑、「嗚呼青春の若き夢」の世界へ。

その最中、先生は参加者ひとりひとりに慈愛の言葉と握手の巡回。感激と共に、いよいよの奮励と躍進を誓う。三時半過ぎ、先生への記念として、研学の白梅の木（目録）を、続いてご夫妻に花束の贈呈式が行われ、次いで記念の写真撮影。

終りを知らない宴ではあるが、難別の時間。先生、愛唱の舟木一夫の「学園広場」を高唱、続いて追遠歌・学歌斉唱、母校関大発展万歳をして、解散。先生と節子夫人のお元気な後ろ姿に拍手をもって……。

（川合宏宣・坂雅夫・島貫るり子）

傘寿を祝福される岩本先生ご夫妻

神戸三九会が臨時集会開く

神戸三九会（39法・川崎保会長）は、一月十七日の暗闇の中の阪神大震災の恐怖から三カ月、悲惨な体験も記憶にまだ生々しい中、四月十五日午後六時半からサンチカ「銀水」（樽谷副会長経営）で臨時集会を開催、十八人が参加した。

川崎会長から神戸支部の校友被災状況について報告があったあと、各自の近況が述べられた。類に生傷を負い、足をひきずっている者、避難所での表現しきれない苦しみの数々、地震前に出張、帰宅したら家屋が倒壊しており絶句した話、仮店舗で営業にこぎつけた者、身につまされる話が続いた。被害のなかった者は皆無だったが、三九会メンバー全員が無事だったことを知らされ、安堵した。

九月三日に開く次回の総会定例会には、出来る限り夫婦同伴で出席することを約して散会した。（中谷晃也）

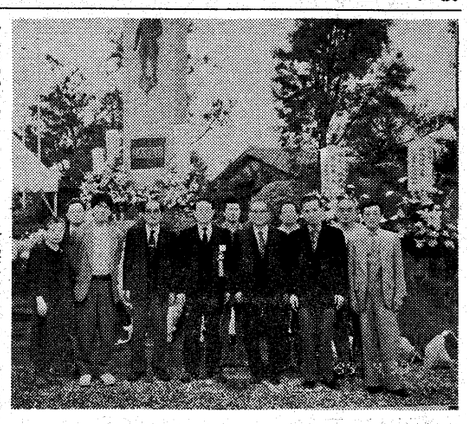
鹿児島支部

特攻基地慰霊祭参列ツアー

鹿児島支部（中島武志支部長）は、四月三十日、校友十一人が参加、加世田市万世特攻慰霊碑の第二十四回慰霊祭に合わせて、西鹿児島駅を出発し、知覧武家屋敷をめぐり、知覧特攻平和会館を見学、万世特攻慰霊祭に参列するバスツアーを行った。

慰霊碑は苗村七郎校友（18大経、校友会代議員、関西大学航空部OB会会長、枚方市在住）らの努力により建立されたもの。

苗村氏は平成五年八月「陸軍最後の特攻基地　万世特攻隊員の遺書・遺影」（東方出版社）を出版している。慰霊祭にはBBC英国国営放送の取材チームも来ていた。祭典では同氏が旧隊員として慰霊の言葉を述べ、陸上自衛隊音楽隊の演奏の下に厳粛にとりおこなわれた。今回は支部総会等の内なる活動を超え、対外的に関大校友会をアピール、意義あるものであった。（時任博幸）



万世特攻慰霊碑前で記念撮影する参加者

苗村校友が鹿児島で講演

校友会鹿児島支部・関西学院同志社立命館各大学OB会鹿児島支部主催の「終戦50年記念講演会」が、七月二十二日午後三時半から鹿児島市東千石町のKCプラザ6ホールで開かれる。講師は「陸軍最後の特攻基地」の著者、苗村七郎さん（18大経）。「至純の心を子孫に」と題して二時間、講演する。無料。

校友議員ら各地で躍進

統一地方選

当選者百人超す

池田市長に初の倉田氏　大阪府議は19人

第十三回統一地方選前半戦の十三知事、四十三道府県議、十政令市議など各選挙は四月九日、後半戦の一般市長・市議、町村長・町村議などの各選挙は四月二十三日にそれぞれ投開票された。校友会事務局の調べでは、大阪府議会議員に新人一人を含む十九人の校友議員が当選、過去最高だった前回統一地方選（平成三年）の十八人を上回り、〝記録〟を更新した。

また大阪市会議員九人をはじめ、全国各地で〝関大議員〟が次々と名乗りをあげた。最高齢者は永田利雄姫路市議（七五）、最年少者は桜井義之三重県議（三一）。

これまでに判明した校友の当選者は百二人。調査漏れがあると思われるので、掲載分以外に当選した校友をご存じの方は、事務局までご一報いただければ幸いです。

選挙区・氏名・卒業年学部・年齢・党派新旧・当選回数の順。

▽大阪府議会議員

【東成区】徳永春好（25高）63 自民現⑤

【港区】河原寛治（38学二法）55 無所属現⑥

【西淀川区】岩見星光（51一高）37 自民現②

【旭区】富田健治（45院修法）53 新進現③

【鶴見区】長田義明（32学一法）60 自民現③

【豊中市】青山正義（25高二普）66 新進現④

【泡田市】松室　猛（34学一法）58 自民現⑥

【吹田市】佐々木砂夫（27院修法）72 自民現⑨

【高槻市】西島文年（26学一政）66 無所属現③▽大前英世（42院修法）54 社会現⑤

【八尾市】松井良夫（40学二政）58 自民現⑤

【泉佐野市】松浪啓一（37学一経）55 無所属現②

【寝屋川市】北川法夫（48学一経）46 自民現③▽藤井昭三（27院修経）67 社会現⑧

【和泉市】杉本光伸（44院修商）51 自民現④

【摂津市】森山一正（42学一経）51 自民現③

【東大阪市】西野　茂（42学一商）51 新進新①▽北川成（40学一国）52 自民現②

【四条畷市】橋本昇治（36学一経）56 自民現⑤

▽京都府議会議員

【北区】杉谷孝夫（47学一社）45 公明現⑤

▽奈良県議会議員

【奈良市】出口武男（33学一新）59 自民現⑤

▽三重県議会議員

【亀山市】桜井義之（61学一社）32 無所属新①

▽広島県議会議員

【中区】新田篤実（30学一法）63 自民現⑥

【深安郡】佐藤秀毅（28学一経）63 自民現②

▽大阪市会議員

【福島区】太田勝義（40学一法）52 自民現⑤

【西区】永井　博（33学二法）60 自民現⑦

【天王寺区】足高将司（49学一政）46 自民新①▽鈴木成男（48学一社）44 新進新①

【浪速区】藤岡信雄（27学一政）69 自民現⑧

【淀川区】大島豊太郎（35学一法）57 公明現③

【東成区】待場康生（47学二史）45 公明新①

【阿倍野区】大丸昭典（48学一中）46 自民現④

【平野区】中西建策（43学二法）56 公明現⑦

▽京都市議会議員

【下京区】今枝徳蔵（36学一法）56 無所属現④

【西京区】天方晶英（38学工化）55 無所属現②

▽藤井寺市長

堀端　宏（26学二法）71 無所属現⑤

▽池田市長

倉田　薫（46学一法）46 無所属新①

▽豊中市議会議員

乗光　恭生（39学二経）54 公明現③▽畑中英夫（38学二経）56 共産現⑥

▽池田市議会議員

井上　章（48学一経）44 社会現⑤▽吉本光夫（49学一社）44 公明新①▽木下克重（54学一社）39 自民現④

▽高槻市議会議員

源久忠仁（48学一法）46 公明現④▽岡本　茂（48学一政）45 社会新①▽高須賀嘉章（40学一法）52 公明現④▽筒井俊雄（41学二経）52 公明現③▽角　芳春（40学二法）55 自民現②

▽吹田市議会議員

山本　力（52学一政）42 社会現⑤▽生野秀昭（49学一政）47 自民現③▽伊藤孝義（32学二経）66 自民現⑧▽村口　始（平3院修経）38 共産新①▽豊田　稔（53学一英）40 自民新①▽杉本庄七（29学一法）63 新進現⑥

▽守口市議会議員

市橋教昭（29一高）59 無所属現⑥▽小濱道夫（29学一法）64 自民現⑨▽澤井良一（48学一法）44 自民現⑤

▽門真市議会議員

青野　潔（44学一法）50 公明新①▽稲田　実（32学二経）60 無所属新①▽増井勝昭（42学一経）51 無所属現③

▽堺市議会議員

大野　博（33学二法）60 社会現⑥▽大丸敏夫（30学二法）63 自民現⑧

▽岸和田市議会議員

小寺峰男（48学二政）47 公明現⑤

▽八尾市議会議員

角倉　章（44学二経）50 公明現④▽長野昌海（47学一経）46 公明新①▽越智妙子（53学二教）42 共産現③▽奥村信夫（36学二経）56 自民現⑤▽森田道昭（34学一新）58 自民現⑧

▽富田林市議会議員

沖　利男（49学二商）46 無所属現③

▽藤井寺市議会議員

堀川国一（29学一法）69 無所属現⑧

▽大阪狭山市議会議員

原口良二（60学一英）34 社会現②

▽岬町議会議員

上田鉄男（27学一経）69 無所属新①

＝以上大阪府

▽宝塚市議会議員

馬殿敏男（42学一法）50 公明現③▽小倉　実（44学一商）48 公明現④▽塚本寿一（43学二法）57 無所属現③

▽伊丹市議会議員

戸田竜馬（26学一法）67 無所属現⑨▽中村昭三（28学二法）67 社会現③

▽明石市議会議員

住野勝美（35学一新）58 無所属現⑧▽富川勇司（29学一法）65 無所属現⑨

▽三木市議会議員

生友正章（43学一法）50 無所属現③

▽小野市議会議員

小西勝一（27学一法）66 無所属現③

▽姫路市議会議員

永田利雄（24大法）75 無所属現⑨

▽東条町議会議員

浦元明男（30学一国）64 無所属現②

▽中町議会議員

藤本國明（53学一法）39 無所属現②

▽以上兵庫県

▽城陽市議会議員

大西吉文（38学一独）55 無所属新①

▽田辺町議会議員

畑　俊宏（41学一経）52 公明現②

▽木津町議会議員

宮嶋良造（53学一経）40 共産新①

▽以上京都府

▽大津市議会議員

前阪良憲（42学二国）54 無所属現④

▽栗東町議会議員

川口　浩（32学一法）60 無所属現⑥

＝以上滋賀県

▽奈良市議会議員

松石聖一（51学電子）45 社会現⑤

＝以上奈良県

▽桑名市議会議員

伊藤　明（37学一商）55 無所属現④

▽松阪市議会議員

鎌倉　守（31学一経）62 無所属現②▽紀平泰三（43学工金）50 無所属新①

▽青山町議会議員

高山　泉（34学一法）61 無所属現③

＝以上三重県

▽尾道市議会議員

宇円田良孝（40学二商）55 無所属現⑤

▽呉市議会議員

岡本　積（27学一経）64 無所属現④

＝以上広島県

▽善通寺市議会議員

西山正一（49学工土）44 無所属現②

▽坂出市議会議員

池田睦雄（31学一法）61 無所属現②

▽丸亀市議会議員

亀野忠郎（47学一経）45 公明新①

＝以上香川県

▽高知市議会議員

吉田哲男（45学機Ⅱ）47 公明現②

▽徳島県市場町長

水田文夫（19大法）74 無所属現④

▽東京都板橋区議会議員

末吉不二夫（40学二経）54 新進現⑥

▽静岡県湖西市議会議員

亀松駿行（38学一経）55 無所属現③

▽93回＝6月14日「私の地域経済論から見た大阪活性化のデザイン」守谷基明経済学部教授

▽94回＝7月12日「日本経済の国際化と農業保護」樫原正澄経済学部助教授

▽95回＝9月27日「経済システムの転換と21世紀＝企業社会から新しい市民社会へ」若森章孝経済学部教授

▽96回＝10月11日「現代の家族問題」大和礼子社会学部専任講師

▽97回＝11月8日「大都市とライフライン」安部誠治商学部教授

▽98回＝12月13日「『製販同盟』をめぐる動向」陶山計介商学部教授

人権問題研究室公開講座を開催

本学人権問題研究室は、学生・教職員をはじめ一般市民を対象に公開講座を開催する。聴講無料。

第1回講座は5月26日（金）午後1時から田宮武社会学部教授を講師に「差別語と差別表現を考える」のテーマで、千里山キャンパス総合図書館ホールで開催される。

第2回＝6月23日「定住外国人の参政権問題を考える」李英和経済学部専任講師

第3回＝10月27日「福祉のまちづくり」荒木兵一郎工学部教授

第4回＝11月24日「女の表現・男の表現」山村嘉己文学部教授

問い合わせは人権問題研究室（電話06―3368―1182）。

人事

▽大阪市役所

（新・旧・氏名・卒年学部の順）（4月14日付）

【部長級】住之江区長（経済局副理事）右谷新次（41法）▽住吉区長（環境保健局副理事）桐山義輝（40経）▽民生局副理事（淀川区役所総務課長）澤田武志（38法）▽環境保健局副理事（東住吉区役所総務課長）山口尚（37法）

市民大学講座日程

おおさか文化セミナー

（大阪府立文化情報センター・関西大学共催）

▽日時　6月6日―7月4日（各回とも火曜日午後6時半―8時半）

▽会場　大阪府立文化情報センター（住友中之島ビル5F＝地下鉄西ツ橋線・肥後橋駅下車徒歩5分）

▽定員　一五〇人（先着順）

▽受講料　無料

▽テーマと講師

①6月6日「萬葉集に見る遣外使たち」神堀忍文学部教授

②6月13日「『能面図』をめぐって」関谷俊彦文学部教授

③6月20日「象が大阪本町を歩いた話＝徳川吉宗と広南白象」大庭脩文学部教授

④6月27日「大坂の絵画＝近世から近代へ」中谷伸生文学部助教授

⑤7月4日「俳句＝芭蕉から現代」飴山實工学部教授

▽申し込み・問い合わせ

往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を書いて関西大学生涯教育課（〒564　吹田市山手町三―三―三五　電話06―368―1184）へ。

吹田市民大学教養講座

（吹田市教育委員会・関西大学共催）

▽日時　6月8日―7月14日

▽会場　吹田市立千里市民センター3階大ホール（阪急南千里駅下車すぐ）

▽定員　各コース二〇〇人（多数の場合は抽選も）

▽受講料　無料

▽テーマと講師

〔第一コース「教育の〝戦後50年〟を考える」＝毎週木曜午前10時20分―午後零時10分〕

①6月8日「戦後民主主義の礎を築いた社会科」小川正文学部教授

②6月15日「学校の戦後史＝『不就学』から『不登校』へ」玉田勝郎文学部教授

③6月22日「教科書の記憶・教科書の力」岡村達雄文学部教授

④6月29日「進学文明と家庭生活」鳴崎ムゲン文学部教授

⑤7月6日「子どもの生活はどう変わったか」田中欣和文学部教授

〔第二コース「災害の社会・心理学」＝毎週木曜午後1時20分―3時10分〕

①6月8日「被災住民への社会的支援＝援助行動とボランティア活動」高木修社会学部教授

②6月15日「自立支援の復興計画」松原一郎社会学部教授

③6月22日「情報選択の心理」佐々木土師二社会学部教授

④6月29日「日常生活におけるメンタル・ヘルス」飯田紀彦保健管理センター所長・社会学部教授

⑤7月6日「情報ネットワーク武器とニューメディアの問題点」藤澤等社会学部教授

〔第三コース「世界の人々・法・政治」＝毎週金曜午前10時20分―午後零時10分〕

①6月9日「アメリカ地方分権の日米比較」若田恭二法学部教授

②6月16日「フランス　家族の絆と法」千藤洋三法学部教授

③6月23日「イタリア　海のリスクと法」栗田和彦法学部教授

④6月30日「オーストラリア・ニュージーランド　南半球からの熱い眼ざし」眞鍋俊二法学部教授

⑤7月7日「東アジア　開放政策を進める東アジアの国々＝法と政治と経済の視点から」村井正法学部教授

〔第四コース「戦後50年と日本経済」＝毎週金曜午後1時20分―3時10分〕

①6月9日「環境情報開示と市民生活」松尾幸正商学部教授

②6月16日「経済社会の発展とアームのルール」竹下公視経済学部教授

③6月23日「日本資本の国際化と税制」川端康之商学部助教授

④6月30日「戦後日本経済と公債問題」戒田郁夫経済学部教授

⑤7月7日「我が国の会計基準と国際会計基準」笹倉淳史商学部助教授

⑥7月14日「ポスト冷戦の朝鮮半島と日本」李英和経済学部専任講師

▽申し込み・問い合わせ

往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・希望コース番号を書いて5月20日までに吹田市中央公民館（〒564　吹田市出口町4―1　電話06―387―2088）へ。

守口市民大学講座

（守口市教育委員会・㈶守口市文化振興事業団・関西大学共催）

▽日時　5月27日―7月15日（各回とも土曜日午後2時―4時）

▽会場　守口市生涯学習情報センター（ムーブ21）

▽定員　一〇〇人

▽受講料　無料（史跡見学会は実費）

▽テーマと講師

「将軍吉宗とその時代」

①5月27日「吉宗時代の芸術」山岡泰造文学部教授

②6月3日「西鶴の知恵と近松の情愛」林省之介文学部教授

③6月10日「暴れん坊将軍と豪」大庭脩文学部教授

④6月17日「史跡見学会」寺西貞弘和歌山市立博物館副館長

⑤6月24日「米将軍と天坂米市場」津川正幸経済学部教授

⑥7月1日「『啓蒙』の将軍と地域・民衆」藪田貫文学部教授

⑦7月8日「吉宗とオランダ＝西洋学のはじまり」有坂隆道名誉教授

⑧7月15日「吉宗と御触書（おふれがき）」市川剛敏法学部教授

▽申し込み・問い合わせ

守口市立中央公民館（電話06―991―0318）か守口市生涯学習情報センター（ムーブ21　電話06―905―3922）へ。

大阪狭山市成人大学講座

（大阪狭山市教育委員会・関西大学共催）

日時　6月3日―7月22日（各回とも土曜日午後2時―4時）

▽会場　大阪狭山市立公民館

▽定員　二〇〇人（大阪狭山市在住・在勤・在学の成人に限る。多数の場合は抽選）

▽受講料　無料（史跡見学会は実費）

▽テーマと講師

「将軍吉宗とその時代」

①6月3日「暴れん坊将軍と豪」大庭脩文学部教授

②6月10日「西鶴の知恵と近松の情愛」林省之介文学部教授

③6月17日「米将軍と天坂米市場」津川正幸経済学部教授

④6月24日「史跡見学会」寺西貞弘和歌山市立博物館副館長

⑤7月1日「吉宗時代の芸術」山岡泰造文学部教授

⑥7月8日「吉宗の行政改革＝御定書（おさためがき）と御触書（おふれがき）」市川剛敏法学部教授

⑦7月15日「吉宗とオランダ＝西洋学のはじまり」有坂隆道名誉教授

⑧7月22日「『啓蒙』の将軍と地域・民衆」藪田貫文学部教授

▽申し込み・問い合わせ

直接、大阪狭山市立公民館へ申し込むか往復はがきに講座名・住所・氏名・電話番号・年齢を書いて同公民館（〒589　大阪狭山市今熊一―一〇六）へ。電話での受付はしない。詳細は同公民館（電話0723―66―0070）。

祝日、毎週火曜日と月曜日午後は休み）へ。

産業セミナー　公開講座

関西大学経済・政治研究所主催の第二八回「産業セミナー」が、6月6日午後1時10分から午後4時10分まで阪急グランドビル26階会議室で開かれる。テーマと報告者は次の通り。

「流行の社会学」杉野昭博社会学部助教授▽「若者の価値観」片桐新自社会学部教授

また同研究所は公開講座を次の内容で開く。毎回第2水曜日（9月のみ第4水曜日）で、午後1時から2時半、千里山キャンパスの総合図書館3階ホール。なお92回の大塚忠経済学部教授の「イノベーション・技能訓練・労働組織の日独比較」は5月10日に終了している。

関西大学・教育後援会・千寿会ご下命店
学章型菓子（上用）謹製
和洋御菓子司
株式会社　昌月堂
〒556　大阪市浪速区難波中3―13―28
電話（06）641―1666（代）
FAX（06）647―6478
夜間専用FAX（06）634―6565
近鉄百貨店上本町店・大丸大阪心斎橋店・大阪梅田店・神戸店・髙島屋大阪店・阪急百貨店大阪梅田店・千里店　ブライダルサロン
大阪府内・神戸市内、有名ホテル・結婚式場
代表取締役　山本俊雄（千寿会会員）
専務取締役　山本雅巳（S53学1法卒）

洗練された味と気軽な雰囲気
アミチェとビストロ・アミスター
気持のあるフランス料理のお店
アミチェ心斎橋店
海の幸フランス料理で校友の皆様にご好評いただいております。　下村八郎（39文卒）
ランチ 2,000～5,000　AM11:00～PM2:30
ディナー 6,500～13,000　PM5:00～PM10:00
大阪市中央区心斎橋筋1-5-31 ラ・シーンビル6F
心斎橋・大丸本館と別館の間東へ20m右側
06-251-3076　無休
フランス田舎料理
ビストロ・アミスター淀屋橋店
ランチ 1,200、1,500、2,400
ディナー 2,800、3,500、5,000
京阪淀屋橋改札前 NEX-T-1-2階
06-227-4160

確かな技術で未来を拓く、
トータルサッシプランナー
合同アーバス
株式会社　合同アーバス
代表取締役　中橋紀司
（昭35学1経卒）
本社　〒538 大阪市鶴見区今津南2丁目6-20
TEL 06（967）0574・FAX 06（967）1889
山陰営業所　〒693 島根県出雲市大塚町1021
TEL 0853（21）1340・FAX 0853（24）2620

♡♡いつまでも心に残る披露宴・イベント司会♡♡
校友のプロ司会者が真心こめてお引受けいたします。
※結婚式当日の仲人もお引受けいたします。

テレビで語る
谷口靖弘
毎日文化センター　講師
浪速短大・大阪国際女子大学　講師
文学部卒業

元　朝日放送アナウンサー
内藤央子
英文学科卒業

フリーアナウンサー
大阪観光専門学校
講師　坂上みどり
英文学科卒業
※校友のプロ司会者募集中・写真、プロフィールご送付下さい。
司会者報酬規定
通常6万円～10万円を
校友関係者に限り
5万円～7万円にてお引受けいたします。
テレビ・新聞で紹介された、好評の講習会
◎ビジネスマナーと話し方
●あがらない方法　●電話応対法　●面接マナー
●受付・応対法　●敬語の使い方
各コース個人・出張指導いたします。お問合わせ下さい。
司会者センター
谷口事務所
事務所　大阪市西区九条1丁目21番21-602号
〒550　TEL（06）584-2562
ご連絡は、代表者・谷口が在する夜間6:00～9:00にお願いいたします。

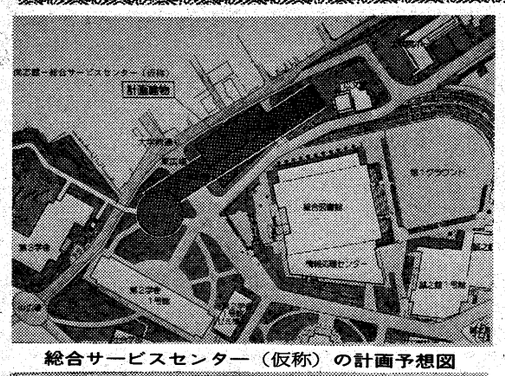
めざせ、建築界のスペシャリスト!!
1級・2級建築士養成講座
受講生募集中
梅田・難波・京橋・天王寺・京都教室
資格取得をサポートする
総合資格協会
関西本部
代表取締役社長　岸　隆司（昭和48年法学部卒）
資料無料送呈
※社員も同時募集しています。
〒530 大阪市北区梅田2丁目1番22号　桜橋アストリアビル6F　Tel.06-341-3801㈹
■本社　東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18F　Tel.03-3340-6711
■東京本部　東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル9F　Tel.03-3340-2811
■中部本部　名古屋市中区丸の内3-22-21 安田火災名古屋ビル8F　Tel.052-953-0471
■九州本部　福岡市博多区博多駅前1-4-4 安田生命博多ビル5F　Tel.092-476-5611

総合サービスセンター建設

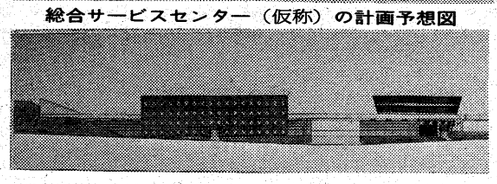
千里山キャンパスアクセス整備も

尚志館跡地

尚志館跡地（正門の北側）の活用については、千里山キャンパスのアクセス整備計画とともに、正門付近の整備と関連して検討を進めた結果、学生に大学の提供するサービス機能を出来うる限り一個所に集中し便益を供与するため、入学試験部、就職部、国際交流センター、保健管理センター等の部署を収容し、これらの機能の充実・改善に努めるとともに、学生の憩いの場、学内食堂の充実等を一体的に解決させるため、「尚志館―総合サービスセンター（仮称）」を建設し、正門付近の整備を行い、大学のシンボルゾーンとすることを基本的コンセプトとしている。



総合サービスセンター（仮称）の計画予想図



建物は二棟からなり、正門北側の北館は長方形の四階建で、建築延べ面積は約六、〇〇〇平方㍍。一階に入学試験部と就職部、二階に会議室、三階に国際交流センターと会議室、四階に保健管理センターを、更に一階には多目的ホールとロビーを設け、就職部の企業説明会や入学試験部の受験生への進学説明会の場として、また保健管理センターの定期健康診断の場として利用に供し、アートギャラリーは本学の歴史と現況の概要、催し等の案内を視覚的に把握出来る施設となる。

南館は、逆円錐台形の四階建で建築延べ面積は約二、〇〇〇平方㍍。一階には外来者へのキャンパス案内としてのインフォメーションロビー、二階に就職資料室と談話の出来る空間のある憩いの場を、三・四階はレストランを設け、学内食堂の充実をはかる。

この両館は、正門をはさんで配置するため両館を結ぶモニュメントゲートにより南館三階と北館三階を結び歩行者の通路とし、第三学舎北側に新設する専用歩道と南館三階を陸橋で結び千里山キャンパスの一体化をはかり、総合図書館を含む正門付近のシンボルゾーンとなるようデザインされ、快適な学生生活と大学からの情報サービスの発信基地になる予定である。

以上の基本計画が策定され、実施計画の具体化ののち、準備工事を経たのち、七月頃から建設工事に入り、来年秋には完成する予定である。

さて、千里山キャンパスのアクセス整備については、キャンパス内の歩行者の安全確保と車両の安全運行を図るためキャンパス内外の通行体系の改善、また千里山キャンパス全体を一体化するため緑と空間を調和させた三つの広場の設置を事業概要とし、三期に分けて整備を行うこととした。

第一期工事は、①既に一部着工したが、中広場付近（第三学舎南東の高速道路上の吹田市道交差付近）の整備、中広場から正門を経て大学院ホール下の十五号門に至る吹田市道に沿って本学敷地内に幅二㍍の歩道を新設。②関大会館前から第三学舎北側を通る幅四㍍の専用歩道の新設。③関大会館横から中広場の間を歩行者専用道とし、事業用車両は百周年記念会館東側から入退出に変更。④中広場から第四学舎に至る高速道路北側の歩道整備を行う。

第二期工事は、①正門付近を東広場として整備し、尚志館―総合サービスセンター（仮称）を建設することによってシンボルゾーン化する。②第三学舎との間の吹田市道上に専用陸橋を新設し、第一期工事で設置した専用歩道と結び、吹田市道により分離されている第三学舎との一体化と歩行者の安全確保。③第一期工事に引き続き、十五号門から第一学舎研究棟横の十三号門に至る市道に沿って歩道の設置を行う。

第三期工事は、高中正門付近を西広場として整備し、本学への来客車両の進入しやすい構造と将来は本学の正門としての機能をもたせ、視認性を高め、阪急電鉄利用者を積極的に誘導出来るよう整備を行うこととしている。

28日に多彩な催し

高槻オープンキャンパス

キャンパスを市民に開放する「関西大学〈高槻〉オープンキャンパス」が、五月二十八日の日曜日午前十時半から午後四時まで高槻キャンパス全域で多彩な催しを盛り込んで開催される。

総合情報学部が誕生した昨春に続き三回目。昨年は約三千人の市民らが訪れ、グラウンドや体育館でゲートボール、テニス、ソフトボール、ラグビーなどに興じたり、ミニ講義コーナーで勉強するなど大好評だった。

主な行事内容は次の通り。

【ミニ公開講座】（B棟―図書・教室棟）午前11時―正午「災害と情報」青山千彰総合情報学部助教授▽午後2時―3時、もう一つの衛星放送」佐野匡男総合情報学部教授

【マルチメディア体験コーナー】（C棟―スタジオ棟）①午前10時半―11時半②午後2時半―3時半―マッキントッシュを使ってマルチメディアを体感

【スタジオ体験コーナー】（C棟―スタジオ棟）午前11時半―午後零時半―スタジオを使用して「激闘／関大クイズ選手権」を実施。

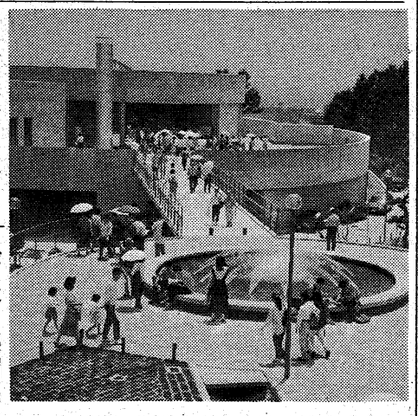
【映像コーナー】（A棟―管理・研究棟）午前10時半から随時放映―マルチビジョン及びB棟―図書・教室棟の控室で「総合情報学部紹介ビデオ」を放映。

【体育施設の開放】（C棟―体育館、グラウンド）午前10時―午後4時―第一グラウンド（ミニサッカー、グラウンドゴルフ）第二グラウンド（サッカー）第三グラウンド（野球など）テニスコート（テニス）体育館横空き地（ゲートボール）―地域開放行事として阿武野地区連合自治会、福祉委員、子供会協賛。

【キャンパス・ミニツアー】①午前11時②11時半③午後1時④1時半⑤2時⑥2時半―キャンパスナビゲーターの誘導でキャンパス案内・見学。

【受験生等対象の入試説明会・進学指導（グリーンキャンパス）】①関大生との相談コーナー―午前10時半と午後1時半の2回②入試説明会―午前11時と午後1時の2回③総合情報学部個別相談コーナー―午前10時半、11時、午後1時半の3回。

その他、応援団による演舞・演奏（中庭と特設ステージで午前10時半と午後零時半の2回）、地元市民による高槻太鼓（午後1時半）、中庭などで軽食、飲物、各種商品の出店もある。



にぎわった昨年のオープンキャンパス

大阪造幣局の建設〈1〉

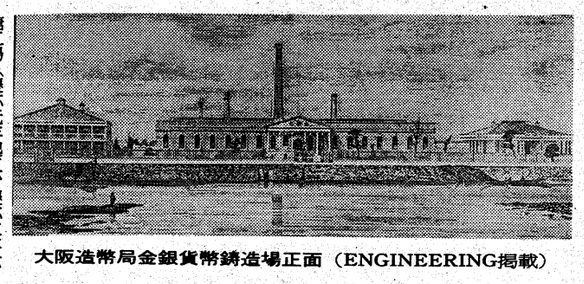
大阪大化論　その56

総合情報学部助教授　木村　寿夫

大阪造幣局は明治四年二月十五日（新暦四月四日）右大臣三条実美、英国公使パークス、フランス公使ウオートレー等の来賓を迎え、創業式が華々しく挙行された。右大臣の告文に「造幣寮建設ノ工ヲ起シ東洋銀行キンドル氏竝ウオートルス氏の尽力ニ依リ其工正ニ落成ニ至リ」とあるウォートルスの姿は無かった。

明治初期の日本に於いて政府・民間を問わず、各機関や個人に雇われ政治・産業・文化などにわたる多様な分野で日本の近代化に貢献した西欧人を総称して「お雇い外国人」と呼ぶ。建築界においても多数のお雇い外国人技師が活躍したが、どうしても避けて通れない人物、それがここで取り上げるウォートルスであり、大阪造幣局の建設を具体的に指導した人物である。彼の名前は正しくは Thomas James Walters と綴り、英国人である。我が国での彼の実績はほぼ出尽くしたが、顔は知られていない。

彼は自ら「薩摩で五つの大工場を建設した」と言う。五つの工場とは薩摩藩が建設した大島の四ヵ所の製糖工場（慶応元年起工、慶応三年六月竣工）と磯の紡績工場（慶応二年十一月起工、慶応三年五月竣工）を示唆するが、紡績工場に関しては疑義がもたれている。



大阪造幣局金銀貨幣鋳造場正面（ENGINEERING掲載）

大島の砂糖工場の建設は、五代才助（友厚）等がフランス人モンブランとの間に交わした覚書に端を発した（この契約は実現しなかった）ので、プラント建設の外国側の責任者がグラバー、建築および器械の据え付け係がウォートルス、薩摩藩からは松岡十太夫を長とした役人七名と上野啓介が通訳を担当した。工場は大島の四ヵ所に建設したが、その一つの工場の規模は間口三〇間、奥行一〇間、高さ一丈五尺もある煉瓦壁の大建築で、一〇〇尺の煉瓦造の煙突が聳えていた。ここに蒸気機関と製糖器械を据え付けたのである。

一方、磯の紡績工場は、イー・ホームを司長（責任者）とし、シリングフォードを建設技師として工事が始まった。紡績工場にウォートルスが直接に関与した具体的な記録は残されていないが、紡績工場の起工日の翌日に鹿児島を訪れた英人アーネスト・サトウの日記の原文には「上陸して磯の集成館に滞在した。サッチクリフ、ハリソン、シリングフォードは、ここに滞在している三人の外国人の名前である。二人の外国人は仕事を求めてここに来ている。残りのものは一ヶ年契約である。ウォートルスは砂糖工場を建設するために契約され、琉球にいる技師である。イー・ホームは紡績工であり、シリングフォードと同じように建設予定の紡績工場に雇われている（筆者の邦訳）」とある。ここにウォートルスの名が見られることは重要である。従来の邦訳にはウォートルスの記述の部分は割愛されていた。この記述があることで薩摩藩とウォートルスの関係はより具体化する。

ウォートルスと言う人

ところで、慶応元年三月二十二日に五代才助や松木弘安等は、グラバーの手引により、欧州留学のため出航、この時グラバーの手代英人ライル・ホームが邦人の世話をした。松木は慶応二年二月、マルセーユから帰国の途についた。その時ライル・ホームの弟イー・ホームを同行した。一方、シリングフォードは紡績工場の起工日の三ヵ年も前からの横浜の英字新聞に土木・機械技師として広告を出し、横浜で建築・土木の仕事をしていた。

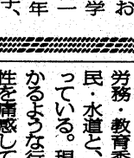
グラバーとホームとの関係から推して、グラバーが両建設に関与したことは確実で、大島製糖工場の場合、グラバー自らが総責任者となりウォートルスを起用し、一方、紡績工場ではイー・ホームを責任者とし、シリングフォードを当たらせた。グラバーの手代ホーム兄弟、その技師ウォートルス、臨時の技師シリングフォードは二つのグループを成すものであり、決して切り離れた存在ではない。薩摩藩側から見た場合も製糖工場と紡績工場は包括的事業であり別物ではあり得ない。大島製糖工場の規模は、造幣局の諸工場にも匹敵するものであり、磯の紡績工場の規模に比べはるかに大きい。グラバーとしてはその技量から、ウォートルスに大島製糖工場を担当させ、シリングフォードに紡績工場を担当させたのであろう。このような関係から、当然ウォートルスは磯の紡績工場をも彼の手柄と勘定する事になったのであろう。

砂糖工場や紡績工場建設の経験はウォートルスの血となり肉となって造幣局の建設に結びつくのである。

一節にウォートルスは薩摩藩のお雇いであったとするが、この時期の彼はむしろグラバー（商会）の構成員とみるのが正しく、お雇い外国人とは呼べない存在であった。

また、造幣局の建設を語る上で欠かすことのできない五代、上野、グラバー、ウォートルスの重要人物の四人までもが薩摩藩の工場建設において既に関係を持っていたことも注目に値する。

ところで大島の民謡（くるだんど節）に、「オートロス船や煙巻きゃ巻きゃ神走りゅり、塩浜マシュクワや、うり見ち　袖絞る（しぼる）」という一節がある。これはオートロスの帰りを見送る愛妻マシュが別れを惜しんで泣きくずれている姿を、当時の民謡詩人が歌ったものである。ウォートルスの私生活の一面が見て取れる面白い民謡である。長老の聞き込み資料にも、「オートロスは名瀬塩浜の人マシュなる女を妾とし、マッキンタヒラは龍郷の人キユなる女を妾とし、伴い来りて同棲し是等が炊事は支那人（男）がなし居たり」と記され、民謡を裏打ちする。



木村寿夫助教授のプロフィール

きむら・としお＝一九七一年本学工学部建築学科一期の卒業、七二年副手、七四年助手、八八年講師、九四年助教授に。同年総合情報学部に赴任。この間八四年に東京大学から工学博士の学位を授与されている。専攻は建築技術史。とくに幕末から明治にかけて活躍したお雇い外国人がもたらした海外技術と日本古来の技術のかかわりや、日本建築に施された顔料、漆などの塗料や技術分野を専攻している。クラシック音楽をこよなく愛し、写真はプロ級の腕前という。

新刊紹介

書名・著編者・出版社・定価の順

「ホワイト見聞記」

藤澤　誠一（30学二国、大阪成蹊女子短期大学教職員）著、近代文藝社刊・二、〇〇〇円

平成六年十月三日付、朝日新聞全国版に本学出身藤澤誠一氏の小説「ホワイト見聞記」の出版紹介が掲載された。

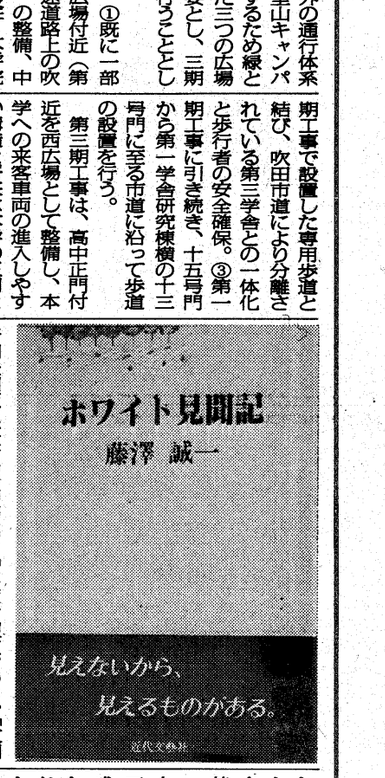
藤澤さんは、昭和二十九年文学部国文学科卒業後、成蹊女子高・短大の教諭をつとめ、五十八年網膜色素変性症のため視覚障害者となった現在も盲人用安全杖を得て、教諭生活を続けている。

この書の主人公である視覚障害者は、常に「ホワイト君」なる〝安全杖〟を卒い街頭を行くのであるが、そのつど世間からいろいろな仕打ちを受ける。つまり身障者から見た世の中を、あるいはユーモラスに、また辛辣に語り続け、それは期せずしてユニークなものは有効（ただし別の要件で制限）な場合に分けて分析・検討し、具体的解決策を示す。

本書の分析スキームは昭和四十年代の後半から五十年代にかけて提示されたものであり、その後の判例・学説は著者の提案を十分に意識しながら行っている。和解に関する教科書の記述もすっかり定着した。このように、この分野における著者の功績は大きく、まさにパイオニア的存在と言うことができる。読者は本書を通して著者の警咳に接することができよう。

著者は、今日、教学部長の要職にありながら、次々と画期的論文を著しておられる。健康に留意されながら、さらなる発展を祈る次第である。

＝植木　哲（関西大学法学部教授）



「示談と損害賠償」

高森八四郎（関西大学法学部教授）著、関西大学出版部刊・五、〇〇〇円

交通事故の多発により「示談」と言う言葉はかなり一般化している。しかしどの法律を見ても示談と言う表現はない。民法は「和解」と言う言葉を使うが、これだと途端に難しく感じられる。法律とは不思議なものである。

先頃、『示談と損害賠償』と言う本が刊行された。著者は法学部の高森八四郎教授で、和解や錯誤を中心とした「法律行為論」の第一人者である。本書は、普段我々が何気なく使っている示談（和解）に関する法律問題を、色々な角度から検討し、その本質に迫ろうとする力作である。

和解とは、当事者が「互いに譲歩」して、その間にある「争いを止める」契約である。この契約を結ぶにあたって（いわゆる示談するとき）、我々はしばしば思い違いをすることがある。これを一般に「錯誤」と言うが、これには異なった意味が込められている。大きく分けると、示談の前提事実を欠く場合と、示談後の諸変化を予想できない場合である。

従来、判例は、この点を十分に意識することなく、和解の基礎ないし前提に関する錯誤と言う表現によって、一括して処理してきた。著者はここにおける曖昧さを指摘し、理論的観点から判例を分析し、方向付けを与えている。その作業は周到であり、著者の博士論文「法律行為論」（関西大学出版部）で見せたドイツ法との比較研究、判例・学説の目的論的分析によって見事に達成されている。

ここから示談や和解の本質（法的性質論）、示談書の法的効力、示談の対内的効力（示談当事者間にどのような効力が生じるか）、示談の対外的効力（示談契約において特定の人を免除した場合、それが他に及ぼす影響）が、具体的に検討される。中心は、その重要性から、示談の対内的効力に置かれる。著者は、和解に特有な、和解の基礎に関する錯誤、契約一般に共通する、前提に関する錯誤、示談その

「社会評論」であり、「文明評論」となっている。

十一月十八日、大阪市中央区西心斎橋の「茶寮やすらぎ」ホールで出版記念パーティーがにぎやかに開かれた。

＝岩田恵美子（29学二経、吹田支部副支部長）

「芭蕉　大和路」

大安　隆（31学二国、元大阪市立陽丘中学校長）著、和泉書院刊・三、五〇〇円

昨年、平成六年は芭蕉の生誕三百五十年、没後三百年という記念の年であった。『奥の細道』の自筆本が発見されたとの衝撃的な話題もあった。その記念の年に、芭蕉に心酔し、大和路をこよなく愛される著者によって、格好の芭蕉入門書が生まれた。

構成は「一、芭蕉の生涯と大和、二、芭蕉の大和路行脚、三、大和路の芭蕉俳蹟」から成るが、中でも著者が力を入れられているのは、三章であり、ご当地の方として、まことに細かく足を運ばれている。著者に導かれて故地を訪ねるための地図・図版ならびに関係資料類の引用が、豊富至極なのはありがたい。

能楽研究の立場から言えば、芭蕉が『笈の小文』では「能のワキ役としての諸国一見の旅の僧に自らをなぞらえて」（本書一五六㌻）いたとか、春日大社・興福寺で今も行われている新能（五二㌻）「御祭」（六〇㌻）を観て、芭蕉が私たちと同じように心ときめかしていたとの記述はまことにうれしい。著者が本学で出身であることを知り、さらにうれしさは増す。

＝関屋俊彦（関西大学文学部教授）

「行政に接近する…情報」

柴谷　一郎（28学二史、元芦屋市市民部長）著、第一法規出版刊・一、八〇〇円

著者は昭和二十八年芦屋市役所に就職、四十三年部長職になって以来、担当した部署だけでも企画・財政・人事・労務・教育委員会事務局・市民・水道と、大変多岐にわたっている。現役中、誰にもわかるような行政解説書の必要性を痛感してきた著者は、五十八年退職後、その実現に挑戦、寸暇を惜しんで行政学を学び直し、本づくりに取り組んだ。

目次を追ってみると、『改めて行政を考えるこの中で「政府は信託に応えているか』『現代行政の課題』を、『行政の担当状況をみる』では「政府組織と公企業等の概況」「行政組織の素描」を、終章の『責任ある行政を求める』で、「行政の在り方の探求」「行政機能の管理」「行政構造の管理」「行政統制の体系整備」を、述べている。

行政の責任確保を考えることを通して、中央と地方の行政の課題を探り、行政管理では、現実の行政に即するよう整理し解説している。また行政観察上の基礎的知識である行政担当状態については、中央・地方の行政組織の統一的な説明を試みている。さらに中央・地方の行政組織相互の機能分担関係や地方自治の分権実態、大都市圏・大都市問題などにも触れている。

「地方行政の末端に携わっていたころから行政を一般人に分かりやすく解説する案内書ようのものをつくりたいと念じてきた」著者だけに各ページに心配りがみられ、親しみやすく、実践に役立つ行政学の紹介書といえる。（S）

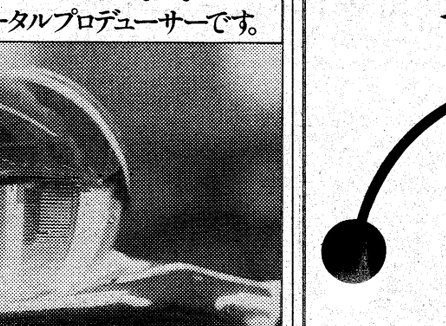
「徳家秘伝　鯨料理の本」

大西　睦子（鯨料理「徳家」経営）著　講談社刊・二、五〇〇円

本紙の広告欄でもおなじみの大阪千日前の鯨料理店「徳家」の社長大西睦子氏が、この程『徳家秘伝・鯨料理の本』を刊行した。

名物のハリハリ鍋を始め五十種にも及ぶ鯨料理の作り方、味わい方を美麗な盛りつけ写真とともに編集したものだが、目で楽しむにも恰好の本ともなっている。

さきゆき不安な捕鯨問題であるが、まず「この味を残したい、伝えたい」という著者の情熱にうたれる本で、この本をバイリンガル（二カ国語で書く）にしたのも、「鯨料理の良さをご存じない世界の人々にも私の思いの一端を…」の著者の願いから。「世界初」の鯨料理の本というのもうなずける。写真家・秋山庄太郎氏らとともに、校友会広報部の丸岡武部員も寄稿者として登場している。（M）



お悔み申し上げます

藤田　一也氏（ふじた・かずや＝21大法、元広栄化学工業㈱勤務）は、2月15日、心筋梗塞のため死去。73歳。

矢部　一之氏（やべ・かずゆき＝16大経、元徳島県・土成町助役）は、2月20日、脳出血のため死去。79歳。

神原　英雄氏（かんばら・ひでお＝54学工機、㈱キタムラ動務）は、2月27日、くも膜下出血のため死去。38歳。

廣兼　潔氏（ひろかね・ひろし＝27学二法、一九書店経営）は、3月3日、肺炎のため死去。71歳。

加藤　常雄氏（かとう・つねお＝10専二商、公認会計士）は、3月15日、肺炎のため死去。81歳。

合田口　實氏（ごうだぐち・みのる＝28学一経、元富士信用金庫本店理事業務部長）は、4月3日、肺がんのため死去。65歳。

下岡　奈津氏（しもおか・なつ＝旧姓築山、45学一仏、校友会代議員・川西支部副支部長）は、4月6日、心不全のため死去。47歳。

岩崎　哲博氏（いわさき・てつひろ＝33学二新、校友会代議員、前貝塚市社会福祉協議会常務理事）は、4月11日、食道がんのため死去。59歳。

中谷　通成氏（なかたに・みちなり＝33学一経、尼崎花力㈱役員）は、4月16日、肝臓がんのため死去。59歳。

松下　勝氏（まつした・まさる＝19大経、松下スポーツ代表取締役）は、4月16日、病気のため死去。72歳。

岡部　俊吾氏（おかべ・しゅんご＝6大法、校友会代議員、同昭六会代表、岡部醤油醸造工場代表取締役）は、4月17日、呼吸不全のため死去。89歳。

宮原　末雄氏（みやはら・すえお＝13専二商、元宮原社会保険労務士事務所経営）は、4月17日、パーキンソン病のため死去。78歳。

村田　敏男氏（むらた・としお＝17専二法）は、4月17日、胆管がんのため死去。75歳。

赤井　英一氏（あかい・えいいち＝24専一法、元兵庫行政監察局次長）は、4月18日、肺炎のため死去。70歳。

浅野　清氏（あさの・きよし＝大14関甲、学校法人園田学園監事、元尼崎市助役）は、4月19日、脳溢血のため死去。87歳。

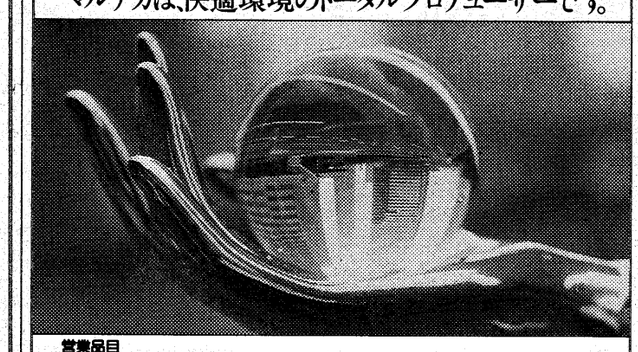
村田捷太郎氏（むらた・しょうたろう＝2専商、第一火災海上保険代理店）は、4月27日、急性呼吸不全のため死去。90歳。

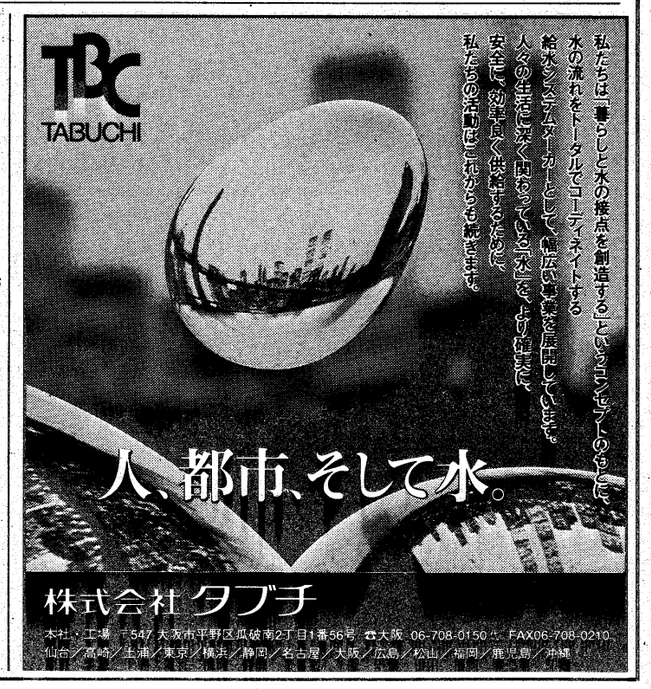
雄大な海岸美　緑豊かな山々
山陰の旅情＼香住海岸
新鮮な海・山の幸を料理！　懇親旅行、ゼミ旅行などお気軽にご利用下さい（海水浴の予約受付中/早目にどうぞ）
◆豊富な海の幸荒磯料理
◆高級和牛のふるさと但馬牛料理
◆冬の味覚かに料理（11月初〜3月下旬）
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園（運輸省国際観光民宿）
海辺の宿はまかぜ荘
香住生まれのOBが経営しております
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL 07963-6-0773（香住駅から車で4分）
〒669-65 兵庫県城崎郡香住町下浜

都市復興
―焦土に教育の柱を―
生涯学習　企業内教育企画・研修
株式会社
田中總合研究所
震災仮事務所　神戸商工会議所内
専用電話　078-302-4837
本社電話　078-341-9230
夜間電話　06-391-1706

OKK　KKK　ABC
ダイヤモンドホーローバス・カーテンウォール
ダイヤモンドアルミバスユニット・鋼材判別器製造販売
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
代表取締役　赤井　常隆
本社　550 大阪市西区北堀江一丁目一一一八
電話　大阪〇六（五三八）三六二一代表
FAX　〇六（五三八）三六二五
東京支店　101 東京都千代田区東神田一丁目二六幸保第二ビル八階
電話　東京〇三（八六二一）五四七一代表
FAX　〇三（八六二一）五四七五
工場　静岡・神戸

MARU NAKA
代表取締役社長　田合　邦臣（昭37学I商）
防災設計・施工からコントロールシステムまで。
マルナカは、快適環境のトータルプロデューサーです。



営業品目
◎防災設備設計・施工・保守点検　◎厨房・ダクト消火・トマホークジェット　◎多重送信装置
◎消火器・消防用品・安全保護具　◎赤外線ルームコントロールシステム　◎CADによる図面作成
◎損害保険HPR-J（高度防災特約付火災保険）　◎省エネルギーシステム　◎C.G. 企画・設計支援
株式会社マルナカ　本社　大阪市北区中崎西4丁目2番27号 〒530
TEL(06)371-7775(代表) FAX(06)372-1859
東京本社/札幌営業所/神戸マルナカ/名古屋マルナカ/九州マルナカ

Graph Media
「知」の通った情報体〝グラフメディア〟
いまはじまる印刷新世紀〝グラフメディア〟
東洋紙業株式会社
大阪本社：大阪市浪速区芦原1丁目 ☎(06) 567-2111(大代表)〒556
東京本社：東京都品川区南品川6丁目 ☎(03)3450-2111(大代表)〒140
営業品目：商業印刷 出版印刷 包材 ビジネスフォーム 磁気・ICカード エレクトロニクス関連部品 特殊印刷 企画・デザイン 映像メディア企画制作